

兼務)の伊東稔江さんにお話を伺いました。

★少子・高齢化が進む地域

野尾は6世帯16人の自治会です。おひとりの世帯 もあります。世帯の人数も子どもも減って、介護をし ている世帯もあります。4軒で地域の役を順番に受 けて、福祉委員も自治会長が兼務しています。

★みんなが気にかけて暮らしの中で見守る

毎月5日は野尾集会所に集まり、行事の話し合い や広報誌を配布した後、会食をします。同じ地域に 住む者同士、歳が離れていても農業や生活の工夫 などの話で盛り上がっています。

この会に来ることができない方へは広報誌を持っ て訪問し、様子を伺ったり毎週木曜日の移動販売に 誘ったりして声かけをしています。「おねえさん行こう

や」「今週は用事で行けれんのよ」など、移動販売 に声をかけあうことも見守りになっています。

↑広報誌を届けに訪問する伊東さん(写真右)

★お互いさまの気持ちにあふれた地域

訪問した時、玄関で声をかけ返事があるまで時間 がかかっても届け物だけ置いて帰ることはせず、顔を 見て話します。2、3回訪ねても不在の時は、心配な ので訪問先の近所の人に様子を尋ねます。後から「お 医者さんに診てもらいに行っとったようで。家に帰ら れたよ」と近所の人が電話で知らせてくれてありが たいです。

私自身も田畑をする範囲で動いていたら、みんな が気にかけて声をかけてくれます。自分も地域のお 世話になっています。

無理なく互いに。~散歩や通りがかりに~

無理なく日常生活の延長で行う「ゆるやかな見守り」は、コロナ禍でもつながりを維持する大切な福祉活動です。 「いつもと違うな」「おかしいな」と気づいた時に声をかけたり社協や関係機関に相談したり、地域内に互いに気 にかけあう関係性があることが安心して暮らせる地域に繋がります。







夜に電気がつかないな? 昼に電気がついてるな?



見かけないな?

地域のアンテナ役

福祉委員活動は、地区社協や民生委員児童委員、真庭 市社協と連携・協力し、『見守り・たすけあいネットワーク』 (右図1参照)の一員として、見守りや身近な地域の福祉 活動を支えるボランティア活動です。

身近な地域に「さりげない、ゆるやかな見守りや声か け」の輪が広がることで、地域内の困りごとに早く気づくこ とができ、必要な支援に繋がることにより安心して暮らせ る地域づくりを目指し活動を進めています。

選出の方法

- ★自治会長に「福祉活動に熱意のある方」を選出いただ だき、社協会長が委嘱し活動をお願いしています。
- ★自治会から原則1名の選出と任期2年でお願いしてい ます。(市内の福祉委員839名)

活動の内容

★日常的な見守り・助けあい活動

一人暮らしや障がいのある 方、子育て世帯など、援助を必要 としている人が、地域で安心し て生活できるように見守り活動 や助けあい活動を行います。



★福祉に関する情報提供

社協だよりの配布や、地区社協が 行う福祉行事などの情報を地域の方 に提供します。「福祉委員からのお知 らせ」(回覧版)や声かけにより情報 提供をします。



★地域福祉活動への参加・協力

助けあい会議や座談会への参 加をはじめ、ふれあいいきいきサ ロンや地区社協活動等への協力、 参加を行います。

福祉活動の財源となる社協会 費や共同募金など、社協活動への 協力をお願いしています。



真庭市社協 イメージキャラクター 社協の「きょうちゃん」



役 割

地域の 見寄り役

れ

の活動

から

困りごとに気づく アンテナ役 情報をつなぐ パイブ役







★困りごとに気づき、 情報を伝え・共有する

自治会内で困っている方に早めに気 づき、困りごとを社協や民生委員児童委 員などの関係機関に相談しつなぎます。



福祉委員を交代される方へ(引き継ぎのお願い)

見守り活動など福祉委員の活動は、継続されることが大切です。次期、福祉委員へ活 動内容と次のファイルを渡していただき、見守り活動などの引き継ぎをお願いします。

- ・福祉委員〈活動の手引き〉
- ・福祉委員からのお知らせ(回覧版)
- *「地域助けあい事業活動報告書」をお持ちの方は、社協へご返却ください。



千隆徹 淳淳一圭昌 代弘郎守子司夫三宏

見香香香香香香香香香

舞典典典典典典典

返返返返返返返返返返

木栗福日

山原田名

吉

下下木

内瀬山

関河市

忌香香忌福忌香香香忌香

明與典明祖明典典典明與

けししけ面けしししけし

田田田世内

田

亅

Ш

市

香

典返

幹幹

美孟寿寿勝吾

黑西杉初重大青芦西**深**堀生山古山池友**冗**家亡旦旦川和白山山坂山槙槙田山 岡藤植木田山**落**尾田根林下田平**居**島金 﨑田石本本本﨑村村

奈 津典茂

そ見香香香香香

他ししししししし

香忌香香香

典明與其

しけししし

所 所 代彰子子孝夫雄!

下中

Ê

2021年(令和3年)3月1日

皆さまの善意

が福祉活動に活かされています

寄付 金

計

健健文健 二二子治修修

台目

屋木

惣惣

六十四万円

月二十 日夕

【敬称略

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

してありがとうございました。 善意銀行へご寄付をいただき

片鎌鎌山竹**湯**樋村**美**山尾尾口田原口上甘 勘山西堀藤井植榎榎赤山**勝**竹名山久玉藤根 島手田本本岩本**山**田和縣保田 八東支所 藤根 田 1支所 支 支 支 **支**浩正 **所**隆彦 裕 工之 明浩貴一武由勝純純善年雄二之彦明美己久久(人) 哲百百 英 俊泰退幸弘 弥恵 彦司助男志 (湯原温泉 月横月月 月月勝勝神本 社社 組 谷 山甘 田部田田 田田山山代郷 田原田見

> 忌見香香忌忌香忌香香香 明舞典典明明返返返返 けしししけけしけししし

典典典典 返返返返返

香香

典典

返しし

典

返

株式会社荒木組様からお菓子(クッキー40 箱)を寄贈いただきました。

社協から子育て中の親と子どもが集える場づく りに取り組む10団体に、このお菓子をお届けしま した。ありがとうございました。



ありがとう♡

典典

返返



お菓子を手に喜ぶ子 どもたち 北房つどいの広場 「ほくぼう ほたるっこ

実績報告赤い羽根共同募金

共同募金(一般募金) ¥5,883,423-

ありがとう ございました。

地域歳末たすけあい募金 ¥3,100,666-

赤い羽根共同募金に温かいご支援と ご協力をいただきありがとうございました。

この募金は、市内の地域福祉活動を支えてい ます。真庭市社協は、ふれあいいきいきサロン活 動、小・中・高等学校の福祉学習、子育てを応援 する活動やひとり暮らし高齢者の支援などの福 祉活動に有効に活用させていただきます。

「ボランティア活動保険」は、日本国内でのボラン ティア活動中のケガや損害賠償を保証する保険です。

■年間保険料(令和3年度1名あたり)

「基本プラン」 「天災・地震補償プラン」

350円 500円

■補償期間

令和3年4月1日~令和4年3月31日

■相談・加入申込

社協本所・各支所で随時受付けています。補償内容 などについて、詳しくは最寄りの社協にお問い合わせく ださい。

予約不要です。お気軽にご相談ください。

北房(真庭市役所北房振興局) 25日(木) 落合(落合老人福祉センター) 11日(木) 久世(真庭市役所本厅舎) 24日(水) 勝山(勝山保健福祉センター) 5日(金) 9時~12時 湯原(湯原保健福祉センター) 18日(木) 12日(金) 中和(中和デイサービスンタ-\束(ノ\束老人福祉センター) 5日(金)

電話(0867)42-1005 ※秘密は固く守られます。 FAX (0867) 42-2263

무

NO.191

子育で世帯を応援!! 配食サービスを実施ド

八東地域から こんにちは!



社協蒜山地域では、親が病気等で療養する必 要がある世帯に対して、配食を通じた食事の支 援を行うことで、家事負担の軽減を目的として「子 育て世帯への配食サービス事業」に取り組んで います。この配食サービスは令和2年12月~令 和3年2月まで試験的に実施し、利用日は、月 ~金の平日の昼食としてワークス 蒜山のお弁当 をご自宅にお届けするものです。

2月15日現在、利用登録世帯は5世帯、利用 回数は17回です。利用登録者からは、「土日の 方が使いやすく、なかなかお願いするきっかけが ない」等の意見のほか、お弁当のお届け時に「日 曜の保育に困っている」という新たな声も聴くこ とができました。

今後は、期間を延長して取り組みを続け、子 育て世帯のニーズ把握や、関係づくりも積極的 に図り、子育てしやすい地域づくりに社協として 尽力していきたいと思います。

【配食サービスを始めた背景】

子育て世帯へのアンケート調査(令和元年 実施)から、子供を育てている親が体調を 崩した時に、家事全般に1番困っていること が分かりました。

「蒜山で安心して子育てできる地域を考える 会」の地域の支援者と共に、「何かできるこ とはないか」と検討していきました。



利用料 大人 1食200円 子ども1食100円

*事前登録制ですが、当日申し込みも可能です。

■ご利用に関する相談・問い合わせ先 社協 八束支所 電話0867-66-7151

草加部 浜自治会(久世)の総合防災訓練に参加しました! ~社協の役割も再確認~

1月24日(日)浜自主防災組織は、草加部小学校 を会場に総合防災訓練を開催しました。(R2.3.31 現在、草加部浜自治会90世帯、277人)

自主防災組織役員や地元の消防団員、草加部連 合会役員、真庭市職員、福祉ボランティア、社協職 員など約35名が参加し、豪雨災害(警戒レベル4・ 避難指示)を想定した訓練を行いました。

会場では、感染症予防対策を講じた避難場所の 開設訓練と避難者の受け入れ訓練を行いました。ま た、向かいにある浜公民館駐車場では、福祉ボラン ティアによる炊き出し訓練が行われました。

訓練を終え参加者は「受付、消毒や検温スペー スが狭かった」「避難者への声かけがよく出来てい た」「段ボールベッドの組立てが5分程度で簡単に できた」と訓練を振り返りました。

真庭市地域防災計画では、社協は避難所運営の ボランティア調整や災害ボランティアセンターの設 置・運営の役割を担うこととなっています。

日頃から地域の方や関係機関・団体と連携、協 働し、社協活動を進めていくことが、有事の際の備 えに繋がること、ボランティアの養成に力を注いで いく必要性を再認識できた訓練でした。





組み立てた 段ボールベッドを テント内に設置!



広報担当の つぶやき

令和2年度も社協だより発行にあたり、多くの地域活動に参加させていただきありがとう ございました。たくさんの方々のご協力により紙面作成ができたことに感謝しています。

